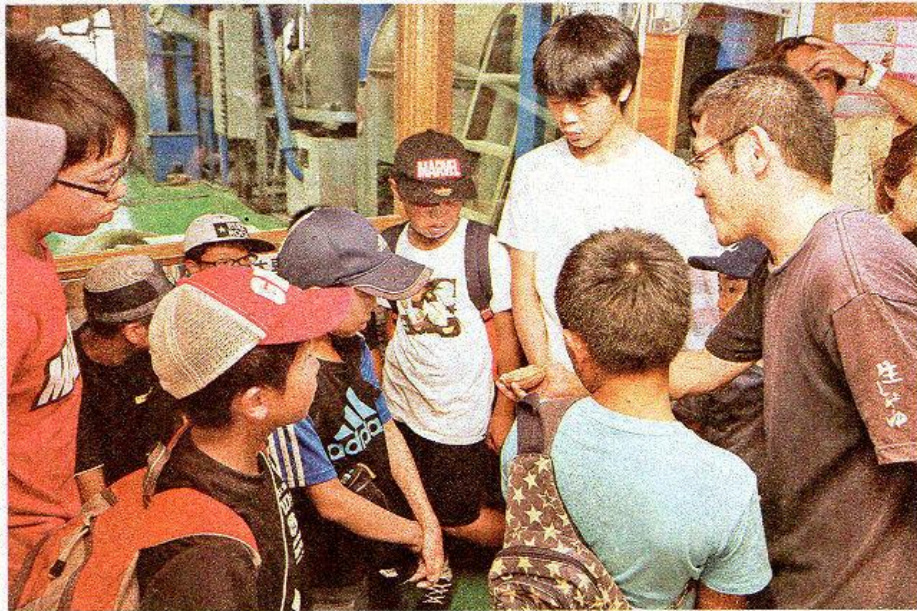


福島の子供 4泊5日の思い出

坂戸の「遊ぶ会」21人招く



弓削多醤油「醬遊王国」でしょうゆ作りの説明を受ける子どもたち＝日高市で

川遊びやしょう油工場見学

坂戸市民有志でつくる「郡山の子どもたちと遊ぶ会」＝花田勝夫代表(セミ)＝が、福島県郡山市の小学五、六年生二十一人を招いて、川遊びやキャンププ

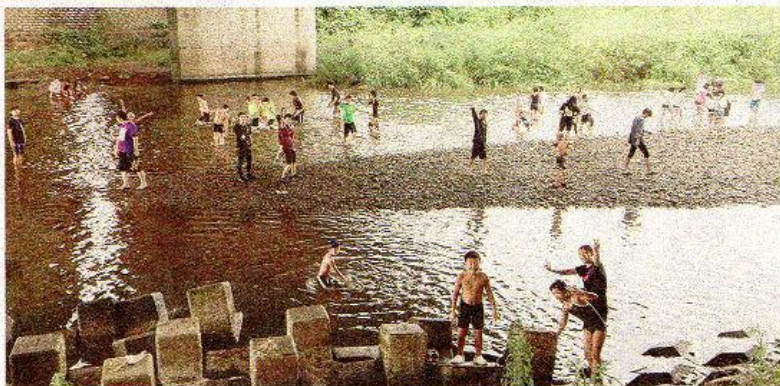
ア、工場見学など、三十日まで四泊五日の日程で交流した。

「夏休み、福島の子どもたちに屋外で思い切り遊んでもらおう」と、二〇一四年に始まって五回目。費用は市民や企業からの寄付で賄い、高校生、大学生を含むボランティア八十人が、食事作りや引率などで子どもたちと過ごした。

郡山市教育委員会を介して参加したのは男子八人、女子十三人。宿泊施設を兼ねる坂戸市入西地域交流センターを拠点に、流しそめんや陶芸教室、地元の小学生とドッジボールやカレー作りを体験。

東北被災地での慈善活動「愛とヒーローマンのコンサート」(事務局・坂戸市、

今野強さん)のため、フランスから来日中の国立パリオペラ座楽団ピアニスト、ベッセラ・ペロフスカさんが、娘のエステルさん(チエロ)、エリースさん(バイオリン)との三重奏でミニコンサートをプレゼントする一幕もあった。



高麗川で水遊びとバーベキューを楽しんだ＝坂戸市で(郡山の子どもたちと遊ぶ会提供)

外遊びは、高麗川での自然観察やバーベキュー、坂戸市民プールで泳いだ後、小川町の小川げんきプラザでキャンプファイアや花火を楽しんだ。

最終日の三十日、明治製菓の工場や弓削多醤油の工場「醬遊王国」を見学。たくさんの思い出を胸に郡山市に帰った。

花田代表は「台風12号の接近があったが、何とか川遊びもプール遊びもできました」とほっとした表情。昨年が続いて参加した六年生の高橋来実さん(こは)は「去年はプールが雨で中止だったので、今年はプールも川遊びも楽しめた。ミニコンサートに感動した」。初参加で六年生の伊藤雄大郎さん(こは)は「違う学校の友達ができた。参加してよかった」と話していた。

(中里宏)